

自立活動チェックシート（研究用）

千葉市立第二養護学校

※R6「目標設定シート」を作成にあたり、6区分で児童の実態を記入していただいた内容を総合的にまとめたチェック項目になっています。

※○→該当する、できる △→どちらとも言えない、支援があるとできる ×→該当しない、できない

① 健康の保持

チェック項目	○ △ ×	メモ（気が付いたこと等）
睡眠リズムが安定しており、睡眠時間が充分とれている。		
偏食をせず何でも食べることができる。		
排泄リズムが整っている。		
アレルギー体質ではない。（食物、花粉等）		
暑さや寒さなど気温の変化に対応できる。		
季節の変わり目や気圧の変化に左右されない。		
歯磨きができる。（一人で、仕上げ磨きを受け入れる）		
服薬をしている。		
やせすぎ、太りすぎではない。		
身体の各部位を動かすことができる。 （過度な緊張や低緊張がない）		

② 心理的な安定

チェック項目	○ △ ×	メモ（気が付いたこと等）
初めてや慣れない環境でも学習や活動に落ち着いて取り組める。		
急な予定変更に対応ができる。		
順番を守ることができる。		
感情の表出ができる。（言語、非言語）		
自傷や他害行為がなく、落ち着いている。		
好きな活動（物）があり、集中して取り組むことができる。		
こだわっている物事から離れても、安定した気持ちで過ごすことができる。		
見通しをもって、活動することができる。		

③ 人間関係の形成

チェック項目	○ △ ×	メモ（気が付いたこと等）
特定の人（親、担任、友達）と関わることができる。		
特定の人以外からの指示や働きかけを受け入れられる。		
担任や友達と手をつなぐことができる。		
自分から他者へ何らかの方法（言葉、クレーン、身振り等）で関わろうとすることができる。		
ご褒美や称賛に期待感をもつことできる。		
自分の好きなことや嫌いなことがわかる。		
集団に参加することができる。		
友達と協力して活動することができる。		
決まりやルールを守ることができる。		
集団での自分の役割を理解し、活動できる。		

④ 環境の把握

チェック項目	○ △ ×	メモ（気が付いたこと等）
刺激を受けて、快や不快を表すことができる。		
遊具で遊び、それに応じた身体の動きがとれる。		
人や物を注視することができる。		
人の声や音に注意を向けることができる。		
苦手な刺激を少しずつ受け入れることができる。		
得意な認知方法（視覚、聴覚等）で物事を理解できる。		
動作模倣ができる。		
好きなものや刺激がわかり、選ぶことができる。		
日常的に使う物の名称がわかる。		
ボディイメージがもてる。（手を前に出す、あげる等）		
物を特定の場所に片付けることができる。		
時間、曜日や季節などがわかる。		

⑤ 身体の動き

チェック項目	○ △ ×	メモ（気が付いたこと等）
座位、立位などの姿勢保持ができる。		
歩行が安定している。		
物を握ったり、放したりすることができる。		
様々な姿勢がとれる。（四つ這い、高這いなど）		
ボールを投げたり、捕ったりすることができる。 （目と手の協応）		
意図的に身体の力を入れたり、抜いたりすることができる。		
一段一歩で階段を昇降することができる。		
衣服の着脱ができる。		
衣服のボタンやファスナーなど細かい着脱行為ができる。 （両手の協応）		
食具（スプーン、フォーク、お箸等）を正しく使って、食事ができる。		
筆記用具を持って、なぐり書き、試写、書字等ができる。		

⑥ コミュニケーション

チェック項目	○ △ ×	メモ（気が付いたこと等）
要求や返答を何らかの手段で伝えようとする事ができる。 （言葉、絵・写真カード、サイン・身振り等）		
名前を呼ばれると反応する。（挙手、目を合わせる等）		
簡単な言葉の指示を理解し、それに応じた行動ができる。		
代替コミュニケーションツール（ICT 機器、絵・写真カード等）を手段と理解し、活用ができる。		
音声模倣ができる。		
言葉で要求を伝えることができる。		
質問を聞き、理解して返答することができる。		
名詞や動詞、助詞等を組み合わせて話すことができる。		
状況に応じた言葉遣いや声の大きさで話すことができる。		